

「中東地域における節水かんがい農業技術の普及」 コース研修委託業務

国名	日本国内
発注者	独立行政法人国際協力機構(JICA) 筑波国際センター
事業分野	国内業務
実施期間	2010年11月～約3ヶ月、2011年9月～約3ヶ月、 2012年9月～約3ヶ月

事業の背景

乾燥・半乾燥地を広く有する国々で構成されている中東地域では、水資源賦存量(降水量-蒸発量)が希少であることから、河川水及び地下水の効率的な利用、さらには灌漑システムの管理・運用が最優先課題の一つになっています。それに応えるためには、農家への節水農業の技術普及と農業普及員の育成が課題となっています。

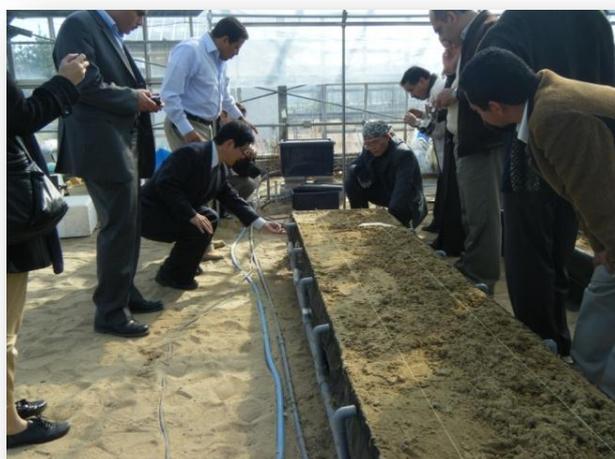
事業の内容

本研修では、各研修生に河川水や地下水を利活用した節水灌漑農業に関する知見を広めてもらうことによって、各国での持続的な灌漑農業の実施、ひいては農業生産の安定化及び高付加価値型節水農業への貢献を目指しました。エジプト、イラク、ヨルダン、オマーン、モロッコ、シリア、イエメンの灌漑・水管理計画及び普及を担当する行政機関のマネージャークラスの技術者に研修生として参加していただきました。また、以下の内容について研修を行いました。

(1)節水灌漑・水管理計画および普及に関するインセプションレポートを作成する事前プログラム、(2)(i)用水管理・節水灌漑技術の普及などに関する講義、(ii)畑地灌漑施設・研究施設などの視察、(iii)帰国後の研修員のアクションプランの作成指導、などの本邦研修により、研修員のモチベーションの向上、普及活動の促進を図りながら、節水型の灌漑・水管理計画と圃場レベル灌漑技術に関して、研修員が所属している組織で活動する普及員の指導能力の向上、指導体制の強化に貢献できました。



座学の様子



灌漑実験施設の視察(鳥取大学)



水耕栽培研究の視察(明治大学)